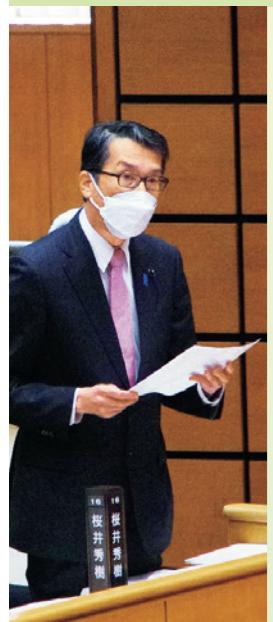


TOPICS
3

令和5年2月議会 議案質疑

令和3年5月に改定された名古屋高速道路を含む、中京圏の高速道路料金改定の成果と課題について質問しました。



質問1 名古屋高速道路料金改定後の交通状況について

料金移行前後の名古屋高速道路の全線の平日1日あたりの平均交通量は、29万8千台から30万3千台へ5千台増加。特に旧名古屋線内の出入口間の交通では、値下がり幅が大きい10km以下の利用の増加が顕著にみられる。また、旧料金圏の撤廃により旧名古屋線と小牧線を跨ぐ利用が増加し、並行する国道41号から名古屋高速道路への転換が進んでいる。

桜井の意見!

高速道路における整備費を利用料金でまかない、返済後に通行料が無料になる「償還主義」の考えは破綻している!
永久有料化にすることで利用料金は安くなる!

質問2 名古屋高速道路の通行料金の値下げについて

指定都市高速道路は、短期間で供用するため、道路整備特別措置法に基づく有料道路事業として集中的に整備しており、その通行料金は償還主義などにより決定。具体的には、設立団体、国、金融機関から必要な事業費を調達し、維持管理費等を含めた総費用について、一定期間内の利用者の通行料金によりまかっている。引き続き現行の料金を基本としていく考えである。



日々の活動

1/22(日) 田原市議会議員選挙を応援
平松さん4選、柳元さん初当選されました!



2/1(水) 愛知県知事選挙を応援
現職の大村ひであきさんが見事4選を果たしました!



2/8(水) 連合愛知豊田地域協議会街頭活動
連合アクションの取組をPRしました!



発行: 桜井ひでき事務所

〒471-0832 豊田市丸山町10-5-1
TEL 0565-71-1555 FAX 0565-29-0274

ホームページを是非ご覧ください
<https://sakurai-hideki.com/>



Instagram

愛知県議会議員

桜井ひでき

県政レポート

2023年4月
発行: 桜井ひでき事務所

vol. 17

現場の声を
県政に!

message

17年目となる議員活動に向けて!

愛知県議会議員選挙におきまして多くの仲間のお支えをいただき再選することができました。豊田市議会議員12年、愛知県議会議員4年を経て、17年目の議員活動がスタートし、身の引き締まる思いです。しかし、この喜びに浸っているのではなく、感染症の分類が変更となったコロナとの共存に加え、いまだ終息が見えない物価高騰。待ったなしのカーボンニュートラルの取組など山積する課題解決に向けて、引き続き、全力で取組んでまいります。

より一層のご支援をお願いいたします。



バッジをついているときは
議員活動17年目を迎えて常に
緊張感があります!

選挙結果報告

3月31日(金)に告示されました愛知県議会議員選挙におきまして
2度目の当選を果たすことができました!!



2期目にかける決意

今回、初めての無投票選挙となりましたが、当選することがゴールではありません! これからの4年間で何をするのかが重要であると考えます。また、今回の選挙多くの仲間や関係者のご協力があっての当選あります。この想いを活動の糧として、4年間全力で走り続けます! 引き続き、ご支援・ご指導をお願い申し上げます。

代表質問

2月定例議会が2月22日(水)～3月20日(月)までの会期で開催され、自由民主党・新政あいち・公明党の3会派が代表質問をおこない、新政あいち県議団からは、団長である長江正成議員(瀬戸市選出：4期)が登壇し、県政諸課題について県の考え方を質しました。



質問1 今後の財政運営について

Q 県政を取り巻く環境変化に対応していくため、今後どのように財政運営に取組んでいかれるのか伺う。



大村知事 答弁 愛知県は、年度によって県税収入が大きく変動するという財政運営上の特徴があることから、一定規模の基金残高を確保することが不可欠。令和4年度は、県税収入及び地方交付税とともに当初予算額を上回ったことなどにより確保した財源によって、年度内に予定していた基金の取崩しを全額取り止め、当初予算編成後の財政調整基金の残高は、1,401億円を確保できる見込みとなった。今後も「あいち行革プラン2020後半期の取組」に基づく歳入歳出両面にわたる行財政改革の取組を着実に進め、円滑な政策展開のための基金残高の確保に努めていく。



代表質問する長江議員

質問2 中小企業等におけるワーク・ライフ・バランスの推進について

Q 中小企業等におけるワーク・ライフ・バランスの推進を図るため、県はどのように取組むのか伺う。

大村知事 答弁 休暇を取得しやすい職場づくりを奨励するため、年次有給休暇の取得率の高い中小企業を認定する制度を創設。認定企業には、県の委託事業の選定にあたり評価点を加点するなど、優遇措置を付与することで、中小企業の取組をしっかりと後押す。また、育児・介護休業法の改正を踏まえて、仕事と育児の両立を支援するため、アドバイザー派遣等を通じて、男性の育児休業を促進する新たな取組に加え、多様で柔軟な働きができるテレワークの導入・定着についても、引き続き「あいちテレワークサポートセンター」を拠点として、きめ細かな支援を実施していく。



質問3 犯罪捜査の高度化・効率化に向けた取組について

Q 各種の治安上の課題に的確に対応するため、今後どのように犯罪捜査の高度化・効率化に取組んでいくのか伺う。

鎌田警察本部長 答弁 限られた警察力の中で、組織化・複雑化する各種犯罪に対応していくためには、AIなどの先端技術を捜査活動に積極的に取り入れることが重要であると考え、防犯カメラ映像を活用し、AIなどの先端技術による映像解析システムの導入を検討している。このシステムは、強盗などの凶悪事件はもとより、多発する侵入盗や特殊詐欺事件、暴力団犯罪などにおいて、犯行現場周辺から収集した大量の防犯カメラ映像の中から、現場から逃走した人物や車両を短時間で絞り込むことを可能にし、被疑者の早期検挙、事件の早期解決を目指すものである。今後も先端技術の積極的な活用を図るなど、犯罪捜査の高度化・効率化に取組んでいく。



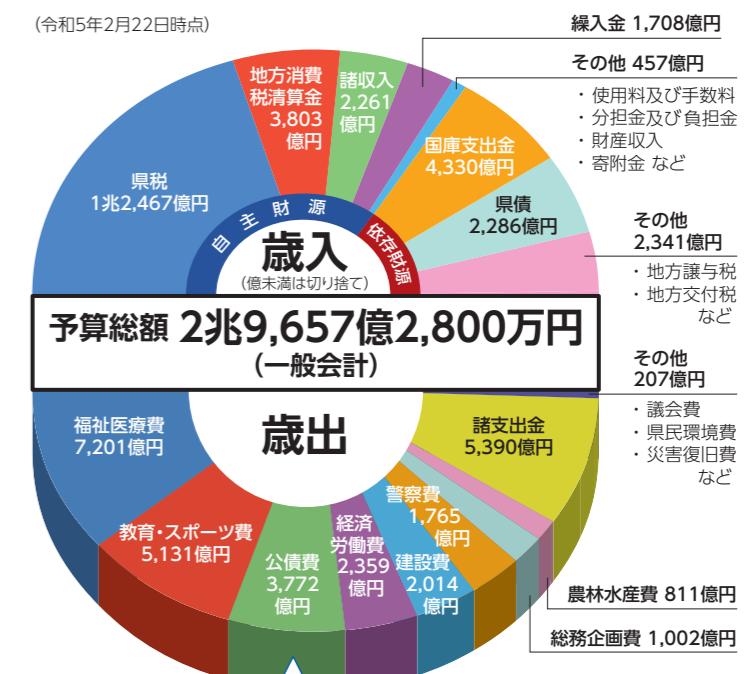
この2月議会に上程された議案は、新型コロナウイルス感染症対応ための補正予算や令和5年度の事業の裏付けとなる当初予算。また、条例については職員の定年の段階的引き上げ対応に伴う退職金の平準化を図る条例他、すべてを可決して閉会しました。

令和5年度 当初予算について

令和5年度 県予算のポイント

歳入 県税は、企業収益の回復による法人二税の増、個人所得の回復による個人県民税の増、輸入増加による地方消費税の増を見込んでいる。県税全体では、新型コロナウイルス感染症の影響が拡大する前の水準に回復しますが、今後、懸念材料である海外景気の下振れ、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分留意が必要である。

歳出 歳出では、人件費は、2023年度から定年年齢が段階的に引き上がるため、退職者が減少することに伴い、退職手当が減少するが、定年年齢の段階的引上げの影響により、今後年度間で大きく増減することから、財政負担の平準化を図るため、退職手当平準化基金を新設する。また、医療・介護などの扶助費は、2025年にかけて団塊の世代が75歳以上の高齢者となることなどに伴い、大きく増加。公債費は、これまでに発行した県債の元利償還や、減債基金への満期一括償還分の積立てが多額となっており、引き続き高止まりとなっている。



県民一人当たりの歳出額 予算総額 393,932円

福祉医療費	95,652円
教育・スポーツ費	68,163円
公債費	50,115円
経済労働費	31,336円
建設費	26,763円
警察費	23,457円
総務企画費	13,319円
農林水産費	10,775円
その他	2,754円

令和5年度の主要事業について

令和5年度の主要事業の一部を紹介します。

■ 愛・地球博記念公園の施設整備の推進

「魔女の谷のみえる展望台」の整備を進めるとともに、バリアフリー経路として昇降設備を整備します。



©Studio Ghibli

■ 救急・災害医療体制の更なる強化を図るため、本県2機目のドクターヘリを導入

【ドクターヘリ2機目導入の目的・効果】

- 本県の救急医療体制の更なる強化
- 近隣県との連携による広域救急搬送体制の構築
- 南海トラフ地震始め大規模災害における災害医療体制の確保



■ 男性育児休業の取得の推進

男性が育児休業を取得しやすい職場環境づくりに取組む中小企業を対象に、企業の実情に合わせた支援を実施します。

- ・アドバイザーの派遣、セミナーやワークショップの開催
- ・企業の先進的な取組を紹介する動画を作成し、情報発信



■ 魅力ある県立大学・県立芸術大学づくりを推進

○新彫刻棟の整備
美術学部の教育研究活動の多様化に対応し、魅力あふれる大学づくりを推進するため、2022年度に引き続き新彫刻棟の建設工事を実施し、2024年度の供用開始に向けて整備を進めます。

【整備の概要】

- 構造: 鋼筋コンクリート造
- 規模: 延べ面積1,570m²
- 構成: 工房棟、アトリエ棟、交流・管理棟 等
- 供用開始: 2024年4月予定

